

「シンギュラリティ」という言葉を、数年前に孫正義さんのお話で初めて知りました。その内容は、技術的な観点から、ある特異点を迎えると、そこから著しく変わり、コンピューターチップの能力が人間の機能を大きく超える。その結果、今まで常識だったことがことごとく変わり、コンピューターは、単なる計算から、自ら思考・学習・推論するというもので、人類が初めて直面する特異点だ、という話でした。もしかしたら、普段、便利に使っているパソコンが上司になる時代が来るかもしれません。ある本では、日本で行っている仕事の 49%が AI に置き換わるとありました。これから、私たちはどんな能力を磨いていけばよいのでしょうか？その答えは、情報編集力が一つのポイントのようです。それは「正解のないものを試行錯誤しながら納得いくものをつくっていく」ということです。

モノづくりもこれに通じます。顧客のニーズを形にしていくこと、つまり、正解のないものを納得できるものに仕上げていくことです。これは、人間として生きていく魅力の一つだと思っています。新宿食支援研究会に「コンセプト」というワーキンググループ (以下 WG) があり、「食べるを支える」製品を作ろう！という WG です。興味のある方・より良い製品を開発してみようと思う方、是非、お待ちしております！

(福祉用具メーカー 清水 貴之)

笑顔の中の気付き

③ 気ままに過ごしたパワフルおばさん

ご本人はお酒とギャンブルが趣味。麻雀・競馬が大好きで、若い時はずいぶんお金を使い込んだとか…。そんな武勇伝を嬉しそうに話していた Y さん。

元々、糖尿病や肺炎、腎不全、そして高血圧など複数の疾患がありましたが、施設に入居後も、週に 1 回の地域麻雀サークルを楽しみ、また、職員とお酒を飲んだり、お寿司を食べに行ったり、常に楽しい事を探して積極的に過ごされていました。

しかし、その Y さんが急逝されてしまいました。亡くなる数十分前までは、いつも通り話をされていたにもかかわらず、そして、東京オリンピックが楽しみで、また、何よりも年末開催の有馬記念を心待ちにしていたのに…。

「高齢者」とか「施設入居者」の枠にとらわれず、弱音を吐かず、いつも明るく前だけを見続けていた Y さんから、私が学んだ事は、障害があっても、将来の健康に不安があっても、今、出来る事に目を向けて、その一瞬一瞬を楽しむ事が出来るという事でした。

援助者は、そういった本人の思いもサポートし、一緒になってその瞬間を楽しむ事も重要な役割の一つであると、改めて気づかされました。

パワフルな Y さん、最期に買った有馬記念はいつも通りの大負けでした。

(管理栄養士 稲山 未来)

**みんなに知ってほしい歯
磨きの話
エムズ歯科クリニック
田口 知実**

平成 28 年歯科疾患実態調査 (厚生労働省) で、日本人の「30 代以上の 3 人に 2 人が歯周病」であることがわかりました。

また、平成 30 年永久歯の抜歯原因調査報告 (公益財団法人 8020 推進財団) では、「歯を失う原因の第 1 位は歯周病」であることがわかっています。

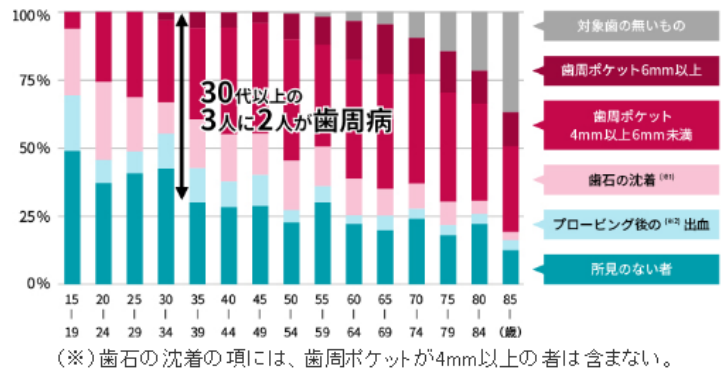
さらにこわいのが、歯周病は「サイレントキラー (静かな殺し屋)」とも称され、はじめのうちは痛みなどもなく進行します。歯茎からの出血、歯のぐらつきといった自覚症状が現れたときにはすでに時遅し。歯医者による治療が必要なレベルに達していることもあります。

虫歯は、歯がむしばまれる病気ですが、歯周病は、歯を支えている歯肉/歯槽骨が障害される病気です。歯と歯肉の境目に磨き残した歯垢が主な原因になります。そのため歯磨きの際には、歯の表面だけでなく、歯と歯肉の境目の汚れまでしっかり磨く必要があります。

また、高齢になると、唾液分泌量や口腔周囲機能の低下により、自浄作用が働きの

30代以上の3人に2人が歯周病

歯肉の所見の有無(15歳以上・永久歯) (歯周組織に所見ある場合を歯周病とする)
「平成28年歯科疾患実態調査(厚生労働省)」より



高齢者のお口の中の特徴

- お口の中が不潔になりやすい
- 自浄作用低下による口腔内残留
- 身体機能低下によるセルフケア困難



ほとんどの方がむし歯・重度歯周病

くくなり、お口の中に汚れが残留しやすくなります。さらに、認知症や身体的な理由から、セルフケアが困難になり、歯磨きできない日が続くと、お口の中はさらに不衛生な状態になってしまいます。

そんな方に対して、訪問歯科衛生士はプロフェッショナルケアで、お口の中を隅々までキレイな状態にケア致します。しかし、訪問歯科衛生士は週一回しかお伺いすることができないので、日常的な口腔ケアを介助者に協力して頂く必要があります。そして、毎日口腔ケアを続けて、汚れがたまり

やすい要介護高齢者のお口の中も、清潔に保つことができれば理想的です。

これを実現するためには、様々な課題もありますが、新宿食支援研究会の活動を通して多職種のスペシャリストの方々から学んでいけたらと思います。

歯周病は歯の喪失原因第1位

ムシ歯は歯がむしばまれる病気ですが、歯周病は、歯を支えている歯肉/歯ぐき・歯槽骨などの歯周組織が傷害される病気。
歯と歯ぐきの境目にみがき残した歯垢(プラーク)が主な原因となり、歯周組織に炎症が起る細菌感染症です。進行すると、やがて歯が抜けてしまうこともあります。

